

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

運輸関係事務業務の集約について提案を受ける

4月12日、支社より「運輸関係事務業務の集約について」提案を受けました。
提案内容は以下のとおりです。

1 実施内容

各乗務員区所にて行っている運輸関係事務業務の一部を運輸部企画課に集約する

2 実施箇所

大船運輸区、茅ヶ崎運輸区、国府津運輸区、熱海運輸区、相模原運輸区、横浜運輸区、
矢向車掌区、中原電車区、鶴見線営業所

3 実施日

2019年6月17日

箇所名	長	助役	事務	営業	輸送	車掌	運転士	車両	計
大船運輸区	1	12	3→1			57	135		208→206
茅ヶ崎運輸区	1	11	2→1			42	51		107→106
国府津運輸区	1	12	3→1			69	111		196→194
熱海運輸区	1	15	2→1		6	37	48		109→108
相模原運輸区	1	11	3→1			108	120		243→241
横浜運輸区	1	10	3→1			96	78		188→186
矢向車掌区	1	10	2→1			120			133→132
中原電車区	1	12	4→2				136	22	175→173
鶴見線営業所	1	7	2→1	1	7	20	36		74→73

提案の説明として支社は…

運輸関係に特化する輸送総合システムに関わる業務を集約する。乗務員に関わる手当・勤務実績の入力を行うことを考えている。今回の集約に合わせて運輸部企画課の中に新たなグループをつくり入力していく。現行の業務で輸送総合システムの計画ベースと実績ベースと扱いは分かれているが、計画ベース（技術・計画）は現場に残る。今回の事務集約の見直しで集約をするのは、実際乗務したその後の変行路等の実績ベースを集約する。現在は乗務員が記載したものを当直助役に提出して事務担当者が職場で入力しているのを、当直助役が運輸区企画課グループにPDFで送付をして、職場から集約したものを一括して入力する。総合事務センターは一般的な事務であり別である。送付について基本的には日々1日分を送付してもらう計画である。運輸職場に事務作業として残るのは、イメージとしては業務に関わる貸与品や被服等の取り扱いになる。残った方だけがやるのではなくて、職場全体で管理者だとかで役割分担をしていく。

要員関係については、輸送総合システムに関わる業務を集約することなので、各現場で業務を行っている方を中心に担っていただくが、輸送総合システムに関わる事務職社員を今後も育てていかなくてはならないので適材適所で配置していく。

不安・疑問点解消に向け、議論をつくり出そう！！